

広報ふたば



【表紙写真】秋の双葉を歩こう・・・（双葉駅西側地区）



令和2年度双葉町表彰式



▲ 後列左から、館下教育長、新工澄子様、吉田正志様、徳永副町長
前列左から、鴻崎太郎様、伊澤町長、佐々木議長、石田翼様

！永年の功績を たたえて！

11月3日、いわき事務所大会議室において、令和2年度双葉町表彰式が举行されました。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、特別功労表彰と功労表彰の受章者にご出席いただきました。

特別功労表彰として3人の方々と功労表彰として1人の方に表彰状・記念品と徽章、永年勤続表彰として10人の方々に表彰状と記念品、3人の方々と8団体に感謝状と記念品がそれぞれ贈られました。

式では伊澤史朗町長の式辞に続いて、佐々木清一町議会議長、吉田栄光県議会議員、橋本徹県議会議員が祝辞を述べられ、受章者を代表して鴻崎太郎さんが「20年間、選挙管理委員を務めた父の遺志を継ぎ、同じ双葉町選挙管理委員として21年間、選挙事務の管理執行及び選挙啓発のために、少しばかりの務めをさせていただきました。これまでの間、永年にわたって職責を果たすことができ、しかもこのように表彰をいただきましたのも、町民の皆さま、関係者の方々のご協力があったからこそと、厚く感謝を申し上げる次第であります」と謝辞を述べられました。

受章者は次のとおりです。

特別功労表彰

◇ 永年にわたり双葉町選挙管理委員会委員として民主政治の確立と地方自治の振興発展に尽くされた功績顕著

鴻崎 太郎様（鴻草）

選挙管理委員会委員20年 福島市在住

◇ 永年にわたり寺松行政区長として住民自治組織の維持発展と福祉増進の向上に尽くされた功績顕著

石田 翼様（寺松）

行政区長20年 いわき市在住

◇ 永年にわたり双葉町消防団員として安全・安心の町づくりと住民福祉の向上に尽くされた功績顕著

吉田 正志様（浜野）

消防団員35年 いわき市在住

功労表彰

◇ 永年にわたり双葉町民生委員・児童委員として住民福祉の向上に尽くされた功績顕著

新工 澄子様（下条）

民生委員・児童委員30年 相馬市在住



▲ 町長式辞

永年勤続表彰

◆多年にわたり長塚一行政区長として本町自治の進展に寄与

木幡 智清様（長塚一）
行政区長12年 いわき市在住

◆多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に寄与

白玉 直裕様（新山）
消防団員25年 郡山市在住

◆多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に寄与

加藤 幸司様（山田）
消防団員25年 山形県鶴岡市在住

◆多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に寄与

吉田 浩様（浜野）
消防団員25年 東京都足立区在住

◆多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に寄与

中井 慎様（浜野）
消防団員25年 いわき市在住

◆多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に寄与

小池 吉弘様（新山）
消防団員25年 千葉県成田市在住

◆多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に寄与

松枝 智之様（下条）
消防団員25年 郡山市在住

◆多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に寄与

酒井 伸寿様（長塚二）
消防団員25年 埼玉県加須市在住

◆多年にわたり双葉町職員として地方自治行政の進展に寄与

志賀 睦様（鴻章）
職員30年 埼玉県加須市在住

◆多年にわたり双葉町職員として地方自治行政の進展に寄与

吉野 高光様（いわき市）
職員30年

感謝状

◆新山行政区長として、地域の交流事業など町民の絆の維持発展に尽力

富沢 信一様（新山）
新山行政区長6年（震災後6年）
栃木県下野市在住

◆下長塚行政区長として、地域の交流事業など町民の絆の維持発展に尽力

福田 実様（下長塚）
下長塚行政区長2年（震災後2年）
いわき市在住

◆双葉町復興のため、ふるさと応援基金寄付金として多額の金員を寄付

清水 邦敏様（東京都小平市）

◆双葉町復興のため、ふるさと応援基金寄付金として多額の金員を寄付

双葉日立生コン 株式会社
代表取締役 **永田 茂男様**（長塚一）
茨城県水戸市在住

◆双葉町復興のため、一般寄付金として多額の金員を寄付

あぶくま信用金庫
理事長 **太田 福裕様**（南相馬市）

◆東日本大震災以降、工場用地を無償にて貸与

ニチバン 株式会社
代表取締役社長 **高津 敏明様**（東京都文京区）

◆東日本大震災以降、工場用地を無償にて貸与

福島交通 株式会社
代表取締役社長 **武藤 泰典様**（福島市）

◆災害発生時、町民への支援や応急仮設住宅支援に尽力

福島市 市長 木幡 浩様

◆災害発生時、町民への支援や応急仮設住宅支援に尽力

白河市 市長 鈴木 和夫様

◆災害発生時、町民への支援や応急仮設住宅支援に尽力

会津若松市 市長 室井 照平様

◆災害発生時、町民への支援や応急仮設住宅支援に尽力

いわき市 市長 清水 敏男様



▶ 特別功労表彰受章者へ贈られた徽章

▶ 功労表彰受章者へ贈られた徽章

▲ 謝辞を述べられる鴻崎太郎様

町民の皆さまへ

早いもので令和2年の最後の月、師走を迎えました。日ごとに寒さが増しているわき事務所協の街路樹もすっかり葉を落しました。

10月28日、ＪＲ双葉駅と双葉町産業交流センターを結ぶシャトルバスの運行を開始しました。ＪＲ常磐線の列車に接続しており、双葉町内へ公共交通によって訪れやすくなりました。町民の皆さまにもぜひご乗車いただきたいと思います。

11月3日には、いわき事務所において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため規模を縮小して令和2年度双葉町表彰式を挙行了しました。今年度の表彰式では、特別功労表彰として永年にわたり選挙管理委員、行政区長、消防団員として多大なる功績のあった3人の方々に、功労表彰として民生委員・児童委員として永年にわたり住民福祉の向上に尽くされた1人の方に功労章並びに表彰状をお贈りしました。さらに、永年勤続表彰として、行政区長、消防団員、双葉町職員として多年にわたり職務に精励された10人の方々に表彰状を贈りました。

また、行政区長として町民の絆の維持発展に尽力された2人の方々、双葉町のために物心両面にわたりご支援いただきました1人と8団体に感謝状をお贈りしました。町政進展、住民福祉の向上や避難者支援に多大な貢献をされました

方々に対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

台風のため延期となっておりました福島県東日本大震災・原子力災害伝承館、双葉町産業交流センター、福島県復興祈念公園の合同開所式が11月7日、産業交流センターにおいて平沢勝栄復興大臣をはじめ来賓の方々のご臨席のもと開催されました。また同日には産業交流センター1階に銘菓や海産物など福島県産の土産物店として「サンプラザふたば」がオープンしました。中野地区周辺の中核となる、伝承館、産業交流センター及び復興祈念公園の一部が開所できたことは、復興への大きな一歩であると感じています。そして今般の開所が町に賑わいを取り戻すための契機になるものと確信しており、引き続き双葉町の復興をさらに前進させ地方創生のモデルとなる新たなまちづくりに挑戦する覚悟です。そして令和4年春頃の特定復興再生拠点区域全域の避難指示区域の解除と町への帰還を目指して町民の皆さまが安心し、希望の持てる生活環境が整うような様々な課題に全力で取り組んでまいります。

結びに、今年一年間、双葉町に対しご支援いただいたすべての皆さまに厚く御礼を申し上げますとともに、町民の皆さまにおかれましては、ご壮健にて新年を迎えられますよう心よりご祈念申し上げます。

双葉町長 伊澤 史朗

令和2年度 第1回 双葉町学校等施設在り方検討委員会

10月22日、いわき事務所において、双葉町学校等施設在り方検討委員会11人の委員に館下明夫教育委員会教育長から委嘱状が交付され、第1回の委員会が開催されました。委員は学識経験者や町立学校代表、保護者代表、社会教育関係者、町立学校支援者などで構成されています。

江井俊雄委員長に館下明夫教育委員会教育長から諮問書が交付され、ふたば幼稚園、双葉南・北小学校、双葉中学校、歴史民俗資料館、図書館、学校給食センターの災害による被害の状況が説明されました。液状化など損壊の程度が著しいと判断されたふたば幼稚園を除く6施設の今後について、委員会で検討していきます。

今年度の委員会は全3回開催され、第2回委員会までに委員の皆さんによる現地視察を行い、令和3年2月頃行われる予定の第3回委員会で施設の今後について答申書が提出される予定です。



▲ 諮問書の交付



秋の双葉を歩こう

～双葉駅西側地区周辺の谷戸地形からなる自然風景を歩いて実感～

町では、令和4年春頃からの居住開始を目指して、駅の西側において、県の代行整備による公営住宅等の整備を進めています。

本年6月と9月に公営住宅等について座談会を開催し、コンセプトや計画について説明し、ご参加いただいた方々と意見交換してまいりました。今回は第3回目の座談会として、11月8日に実際に双葉駅周辺を歩き、豊かな自然風景や地形を実感・再発見しながらまちの良さや在り方について、意見交換を行いました。当日は、駅の東側から出発し、JR双葉駅の自由通路を使って駅の西側へ渡り、戎川沿いに清水迫（下羽鳥）周辺や、中学校の北側にある深谷（長塚）の谷戸の風景を楽しみ、跨線橋の上から駅の西側地区全体を確認、最後は、図書館周辺や旧国道の初發神社前など約3km程度の行程を、ご参加いただいた皆さまと様々な話しをしながら歩きました。

秋晴れのポカポカ陽気の中、アップダウンの少ない歩きやすい道に、樹木が紅葉している様子、この時期に西から吹いてくる強い風も体感しました。参加いただいた方からは「釣りやパークゴルフができるような場所があるとコミュニティが生まれて良い」「震災前には、車ばかりで、この辺を歩いたことはなかったな」「散歩するのに丁度良い距離」など様々なご意見が聞かれました。



当日の様子



深谷の谷戸

今回の第4回目となる座談会は、12月13日（日）に開催予定です。詳細は、同封のチラシをご覧ください。

双葉町長選挙・双葉町議会議員一般選挙は、令和3年1月14日告示、1月24日投票です。

任期満了に伴う双葉町長選挙及び双葉町議会議員一般選挙が令和3年1月14日告示、1月24日投票で行われます。投票日や投票場所、投票方法については「選挙のお知らせ」と「不在者投票用紙請求書」を同封したものを12月下旬に有権者の皆さまへ郵送する予定です。

双葉町長選挙

○立候補予定者説明会

日 時：令和2年12月15日（火）
10：00～12：00

場 所：双葉町いわき事務所 2階大会議室

○立候補届出書類事前審査

日 時：令和3年1月7日（木）
10：00～12：00

場 所：双葉町いわき事務所 2階大会議室

双葉町議会議員一般選挙

○立候補予定者説明会

日 時：令和2年12月15日（火）
13：30～15：30

場 所：双葉町いわき事務所 2階大会議室

○立候補届出書類事前審査

日 時：令和3年1月7日（木）
13：30～15：30

場 所：双葉町いわき事務所 2階大会議室

○立候補届出受付

日 時：令和3年1月14日（木）8：30～17：00 場 所：双葉町いわき事務所 2階大会議室

双葉町産業交流センター

東日本大震災・原子力災害伝承館、福島県復興祈念公園 合同開所式



▲ 伊澤町長式辞



▲ 内堀雅雄県知事式辞

11月7日、双葉町産業交流センターと福島県東日本大震災・原子力災害伝承館のオープンと福島県復興祈念公園の一部供用開始を記念して、町と県による合同開所式が執り行われました。式典には平沢勝栄復興大臣や町、県の関係者など約80人が招待され、多くの来賓よりご祝辞をいただきました。テープカットのあと、来賓の方々は産業交流センターや東日本大震災・原子力災害伝承館を見学されました。同日、フィールドワーク体験やトークセッションイベント、語り部講話など震災発生からの復旧状況を学ぶ催しものや、地域の伝統や資源を体験するワークショップ、地域活動団体によるステージイベントなども開催されました。新型コロナウイルス感染症対策のために式典をYouTubeでライブ配信するなど規模を縮小して開催されましたが、初めて双葉町に足を運んだという来場者の方も多く、今後の双葉町にも関心を寄せていただくきっかけとなったようです。

地域活動団体ライブステージ



標葉せんだん太鼓保存会



JAスマイル大正琴

産業交流センターの屋外ステージでは、双葉町、浪江町、楡葉町の伝統芸能団体等がよさこい踊りや、神楽、相馬流れ山踊りなどを披露しました。標葉せんだん太鼓保存会の皆さんは創作太鼓の演奏に加え、盆唄も披露しました。JAスマイル大正琴の皆さんはポピュラー歌謡曲を演奏し、口ずさみながら鑑賞する人もいました。

地域伝統文化・資源体験イベント



大堀相馬焼絵付け体験



双葉ダルマ絵付け体験



東日本大震災・原子力災害伝承館の展示スペースでは、大堀相馬焼絵付け体験や相馬野馬追甲冑武者体験、J A 福島さくら女性部双葉支部の皆さんによる双葉ダルマ絵付け体験などが行われました。「双葉ダルマの青いフチはお花の部分のを太く塗るといいですよ」と、描き方のコツを教わりながら、参加した皆さんは真剣に絵付けを行っていました。

当日の産業交流センターの様子



当日、スマートモビリティの体験試乗会を実施し、自動車運転免許等不要の座り乗りタイプのものなど、多くの方に体験していただきました。

当日、体験された方からいただいたアンケート結果を生かし、今後、双葉駅西側地区などで「出歩きたくなるまちづくり」（ウォーカブルタウン）の実現に向け取り組んでいきます。

1階 フードコート・土産物店



屋上・展望台から

東側



西側



2階 レストラン



1階のフードコートや、2階のレストランも多くの方で賑わいました。また同日、1階の土産物店「サンプルザふたば」がオープンしました。今後、取り扱い商品を拡充していく予定です。

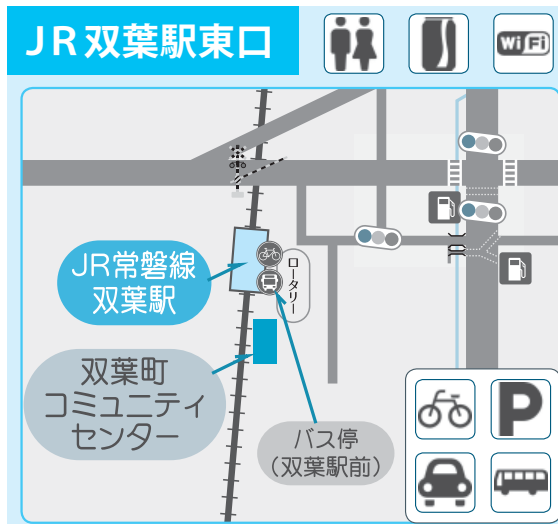
シャトルバス運行中 ～JR双葉駅と中野地区の往来が便利に!～

時刻表 上下合計35本 所要10分

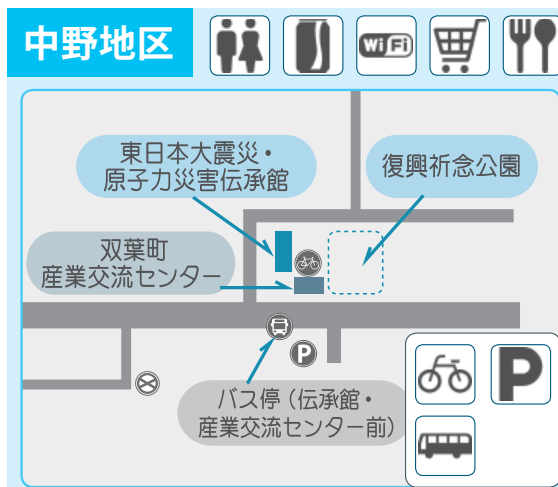
バス時刻表 伝承館・ 産業交流セ ンター発	JR時刻表 双葉駅発		バス時刻表 双葉駅発
19本	いわき・東京方面	原ノ町・仙台方面	16本
	5:56		
	6:35	6:17	
6:50	7:16	7:05	7:20
7:45	8:15	8:05	8:20
8:25		8:45	8:50
9:20	9:40		9:50
10:05		10:24	10:30
10:50		11:10 特急	11:20
11:10	11:30 特急		11:40
11:55	12:14		12:25
12:50		13:10	13:20
14:05	14:24		14:35
15:40		16:00 特急	
		16:15	16:20
16:35	16:51		17:00
17:10	17:29 特急		17:40
17:30	17:58	17:49	18:05
18:25		18:44	18:50
18:40	19:13	19:02 特急	
19:10	19:28 特急		19:35
20:00		20:18	
20:30	20:45	21:15	



JR 双葉駅東口



中野地区



コンビニエンスストアでの証明書発行の停止について

戸籍システム移行に伴う試験実施のため、下記日程にてコンビニエンスストアでの証明書発行を全て停止いたします。証明書をお使いになる予定がある方は停止前に申請いただきますよう、よろしくお願いいたします。



- **対象** 住民票の写し、印鑑証明書、戸籍事項証明書（戸籍謄本、抄本）、戸籍の附票の写し、所得・課税証明書

- **停止期間** 12月10日(木) 15:00～終日 12月22日(火) 終日

【問い合わせ先】 戸籍税務課 ☎ 0246-84-5204

～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

いよいよ師走を迎え令和2年の総まとめの時期となりました。朝夕の冷え込みも厳しくなり本格的な冬到来といった趣でしょうか。とにかく、今年は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により、各種行事の内容変更や延期及び中止せざるを得ない状況が続き、学校教育現場はもちろん、生涯学習・社会教育団体の皆さまも、当たり前のことが当たり前にできないもどかしさ、そのストレスの積み重ねによる精神的ダメージが重くのしかかっている状況ではないかとお察し申し上げます。しかし、こんな時だからこそ、これからの活動への充電期間と考え、児童・生徒の皆さんも、大人の皆さまも自己を振り返り、将来に向けてできるところから一つ一つ取り組んでほしいと思います。そして、家族の中で思いやりのある、人と人との接し方の大切さを話し合い、心豊かな成長をお互いに積み上げることができれば素晴らしいと思っております。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故による全町避難から、令和3年3月11日で丸10年となります。改めて避難先でのご苦労に対して衷心よりお見舞いを申し上げます。ただ、後ろばかりを振り返っているだけでは前には進みません。双葉町の復興・創生が一步一步進む中「まちづくり計画」の中に、夢と希望のある「学び」へ生涯学習はもちろん学校教育をどのように位置付けていくか、『文教の町、双葉町』を継承しつつ、町の将来を担う子どもたちをどのように育てていくか。「町づくりは、人づくり」の理念を基盤としつつ、丁寧に議論を進めてまいりたいと思います。

第32回市町村対抗県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝） 11月15日

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、規模縮小と多くの競技制約がある中、双葉町チームは吉田一弘部長をはじめ白土直裕監督のご指導のもと、12人の選手が一丸となって元気みなぎる走りとサポートをしていただきました。改めて感謝と御礼を申し上げます。

双葉北小学校母子像との再会（小谷野様）

10月28日、双葉北小学校にある母子像製作者の小谷野匡子様（旧姓 斎藤様、お父様は、当時双葉北小学校の校長先生で斎藤 計様）と東京藝術大学の方々、小谷野様ご親族の方々の5人の皆さまの訪問をいただきました。以前より、震災後の母子像の状況について、大変心配しておられたとの事で修復等が必要な状態であるならば、「何とかしなければ」との思いで実態調査のため町内立入を計画していただいたようです。私も、双葉北小学校の出身で、正門の前に立っている母子像は忘れられません。彫塑専門の先生とともに、「絵画保存研究所」の代表取締役である小谷野様ご自身により実態調査をしていただきました。



1959年（昭和34年）7月3日建立
母子像と61年振りの再会 小谷野 匡子様



双葉町教育委員会教育長 館下 明夫

双葉町立幼・小・中学校 合同文化祭

離れていても心はひとつ！
届けよう双葉の声を！

梅檀祭

10月24日、町立学校体育館において幼稚園・小学校・中学校合同の文化祭「梅檀祭」が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、小中学生による標葉せんだん太鼓の演奏は事前に練習風景と演奏を映像で収録し、当日はビデオ上映で保護者や来賓の方々に披露しました。

幼稚園児は、うがいや手洗いをきちんとすることで悪い菌を撃退する戦隊劇を、色とりどりのかわいらしい衣装を身に付け、大きな動きと声で表現しました。

小学生は、低学年が怪獣と出合い仲良くなってから一緒に帰ることのできない悲しい別れまでの劇を、ハーモニカや笛などの演奏と創作ダンスを交えて演じました。高学年は双葉町からきた猟師の一行が、「注文の多い料理店」に入店してしまう様子を、臨場感たっぷりにユーモアを交えて演じました。

中学生は1、2年生がJR双葉駅から出発し10年前の双葉町を旅する旅行ツアー企画を発表しました。地域の皆さんにご協力をいただき実現した、双葉ばら園、ふたば茶亭、ホテル高砂などをめぐるツアーで、途中、保護者の方々とコミュニケーションをとりながら旅行ツアーは進行了しました。3年生は総合的な学習で学んできた成果を、それぞれ風評被害や自然災害などのテーマについてプロジェクトを使って発表し、全学年で「翼をください」など2曲を合唱しました。

新型コロナウイルス感染症対策でオープニングアクトやクロージングで



▲ 標葉せんだん太鼓「天響」 演奏とドキュメンタリー映像を収録し、ビデオ上映を行いました

セレモニーを省略し、保護者の方にも入れ替わりや距離の保持にご協力いただいた今年の梅檀祭。待合室でもリアルタイムで観覧できるようにライブ配信するなど、先生方も協力して様々な工夫を凝らして開催され、子どもたち一人ひとりの頑張りに贈られた拍手は例年と変わらず盛大なものとなりました。

幼稚園児の発表



▲ けんこう戦隊 よぼうレンジャー

小学生の発表



▲ とともに
～パフとちびっこたちのものがたり～

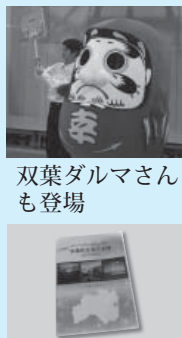


▲ 注文の多い料理店

中学生の発表



▲ 10年前の双葉町をめぐる旅
～Back to Futaba～



双葉ダルマさんも登場



▲ 地域と共に生きる



▲ 合唱

第7回市町村対抗 福島県ソフトボール大会

10月18日、第7回市町村対抗福島県ソフトボール大会の第一試合が相馬光陽ソフトボール場で開催され、双葉町は棚倉町と対戦しました。

初回に先制点を取り、好調な滑り出しでしたが、逆転を許してしまい、2回戦進出はかなわなかったものの、多くの町民の方が応援にかけつけ、選手の皆さんの健闘を讃え大きな拍手が送られました。選手の皆さんお疲れさまでした。



ふるさとの祭り2020 ~前沢女宝財踊り・稲荷神社境内にて奉納~



10月25日、前田地区の稲荷神社境内において保存会の皆さんによる前沢女宝財踊りが奉納されました。今年のふるさとの祭りは新型コロナウイルス感染防止のため後日動画を配信する形で開催されるため、この日は動画の収録が行われました。

稲荷神社を参拝し、震災後初となる町内での女宝財踊りの奉納に臨んだ保存会の皆さん。

奉納後、保存会長の半谷八重子さんは、「皆がそれぞれに避難して集まるのも簡単ではない状況ですが、なんとか前沢という地域の名前を掲げてやっていきたいと、その思いで皆が頑張ることができています。今日は本当にこの地で奉納できてほっとしました」と話しました。

復興支援員紹介

11月1日から双葉町復興支援員として勤務しております、前林菜美（まえばやしなみ）と申します。双葉町の広報物の作成、町民の皆さまのコミュニティ支援などの業務を担当させていただきます。

私は震災当時高校1年生でした。当時、福島民報社主催のふくしま復興大使として、他県を訪問し福島の実情を伝えるという活動をしました。その時感じた県内の実情と県外からみた福島県のイメージ格差は少なからず今もあるように思います。

双葉町について正確な情報をお伝えできるよう精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



双葉町復興支援員
(通称ふたさば・ONE福島所属)
前林 菜美



今年度は私たちが6人で活動しています！



問い合わせ先

広報支援に関すること

秘書広報課 ☎0246-84-5202

コミュニティ支援に関すること

生活支援課 ☎0246-84-5419

第32回 ふくしま駅伝大会 ～力走!! 秋の福島路!～

11月15日、第32回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、郡山ヒロセ開成山陸上競技場から福島県庁前までの9区間、50.2キロに区間を短縮し、沿道での応援の自粛を呼びかけるなど対策を講じた中での開催となりました。

白玉直裕監督は「それぞれに避難し集まるのも大変な中、今年は感染症対策で夏と秋の全体合宿も中止となり練習方法を伝授することができず、前日の壮行会も行われなかったため当初初めての顔合わせとなっていました。それでも毎年、まずは参加すること、そして完走することを目指しているのです。1つの目標はクリアです」と話していました。大会前に皆さんから寄せられた応援メッセージで制作した動画を郵送で選手の皆さんに事前にお届けしました。当日、沿道で熱い声援を送ることとはかきませんでしたが、皆さんの応援を選手の皆さんに届けることができ、選手の皆さんはふるさとのタスキをゴールまでつなぐことができました。

結果は、選手の皆さんの大健闘により出場50チーム中総合48位、町の部26チーム中24位となりました。



【出場選手】(敬称略)

1区 秋元 愛	2区 黒木 劉心	3区 井戸川 俊
4区 新妻 翔和	5区 佐藤 剛	6区 山田 兼也
7区 白井 文人	8区 佐藤 美月	9区 秋元 正人

◀選手の皆さんは新しいユニフォームに身をつつみ見事完走を果たしました

東京2020オリンピック聖火リレートーチ展示について

新型コロナウイルス感染症の影響により延期となりました、東京2020オリンピック聖火リレーは、令和3年3月25日にJヴィレッジからスタートし、双葉町でも開催されます。

令和2年12月22日(火)から27日(日)まで「聖火リレートーチ」を双葉町産業交流センター1階観光情報コーナーに展示いたしますので、双葉町民の皆さまにご覧いただきますようご案内いたします。

日 時：令和2年12月22日(火)から27日(日)
場 所：双葉町産業交流センター1階観光情報コーナー
(住所：双葉郡双葉町大字中野字高田1番地1)



※昨年度に福島県庁で展示された写真

年金事務所からのお知らせ
社会保険料（国民年金保険料）控除証明書が発行されています！

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。

控除の対象となるのは、令和2年1月1日から令和2年9月30日までに納められた保険料（令和2年12月31日までの納付見込分を含む）です。過去の年度分や追納された保険料も含まれます。

また、ご自身の保険料だけでなく、ご家族の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合、その保険料も合わせて控除が受けられます。

11月上旬に日本年金機構から「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されていますので、年末調整や確定申告の際に必ずこの証明書または領収書を添付してください。

国民年金は、老後はもちろん不慮の事故など万一のときにも心強い味方となる制度です。保険料は未納のないよう納めましょう。

【問い合わせ先】

ねんきん加入者ダイヤル

☎ 0570-003-004

●自動音声でご案内します。

050から始まる電話でおかけになる場合は、☎03-6630-2525へおかけください。

【受付時間】

・月～金曜日

(午前8時30分～午後7時)

• 第2土曜日

(午前9時30分～午後4時)

※祝日(第2土曜日を除く)、12月29日～
1月3日はご利用いただけません。

～ 年末調整・確定申告まで大切に保管してください～

双葉町社会福祉協議会

～ 12月 健康運動教室・サロン開催のお知らせ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記お問い合わせ先へご連絡ください。

● 健康運動教室

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター 2階第6会議室 (郡山市喜久田町卸1丁目1-1)	①第1、3水曜日 ②第1、3木曜日 ③第2、4木曜日 のいずれか	13:30～14:30	郡山事務所 ☎ 024-973-5291
福島市老人福祉センター2階研修室 (福島市仁井田八ツ割川原3)	12月15日(火)		

● 社協サロン

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
小名浜公民館 3 階視聴覚室 (いわき市小名浜愛宕上 7-2)	12 月 8 日(火)	10:00 ～ 11:30	本部事務局 ☎ 0246-84-6725
かしま交流センター 2 階大ホール (南相馬市鹿島区横手字川原 186-1)	12 月 9 日(水)		

冬の健康管理

冬の健康管理のために水分補給を意識しましょう

1 風邪対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、「マスク」「手洗い」を積極的にされているかと思いますが、それに加えて、「水分補給」も風邪対策の一つになります。ウイルスは、湿度が50%以上になるとその活動が急激に低下します。水分補給は喉や鼻の粘膜を潤して、ウイルスの侵入を防ぎ、侵入したウイルスを痰や鼻水によって体の外に出すのを助けてくれます。1日あたり1～1.5ℓを目安に水分をとるように心がけましょう。

2 脳卒中、心筋梗塞予防

冬場には脳卒中や心筋梗塞の発症が増えます。これは寒くなり、血圧が上昇することも原因にありますが、水分摂取も大きく関わってきます。冬場は水分をとる機会が減るため、血液がドロドロ状態になりやすく、そのため血管が詰まりやすくなります。寝る前、起床時にはコップ1杯の水分をとることが望ましいです。

3 お酒の飲み過ぎ予防と脱水予防

年末年始は飲酒の機会が多くなります。アルコールには利尿作用があり、飲酒が過ぎると体は脱水状態になります。アルコールを飲んだら意識的に水分を補給して、脱水状態になるのを防ぎましょう。また、飲酒の合間に水分をとることで、悪酔いや飲みすぎ予防につながります。

冬場は乾燥しやすいため、湿度の管理も必要です。湿度の目安は50～60%です。加湿器を使用したり、室内に洗濯物を干すことで適度な湿度を保つようにしましょう。また、マスクの着用は口元が加湿され、喉の乾燥を防ぐことにつながります。

室内の温度差に注意しましょう

冬の寒い時期には入浴中の突然死が多くなります。これは、温度の急激な変化で、血圧が大きく変動することが関係しています。高齢の方、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの持病を持っている方は、特に注意が必要です。急激な血圧の変動を起こさないために、脱衣所や浴室を暖かくするように気をつけましょう。

高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌の予防接種について

現在、肺炎は死亡原因の第5位となり、死亡者の95%以上が65歳以上の高齢者で占めています。肺炎にかからないためには、普段からバランスのいい食事を心がけ、よく体を動かし、禁煙に努めることが大切です。

*新型コロナウイルスの同時流行に備えるためにもインフルエンザワクチンを接種することをおすすめします。接種希望の方は効果や副反応について十分理解したうえで、医師と相談し接種を行ってください。

● 高齢者インフルエンザ（接種時期：10月～12月）

【対象年齢】 接種日の年齢が65歳以上の方

● 高齢者肺炎球菌（接種時期：通年）

【対象年齢】 令和3年3月31日時点の年齢が65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳の方

※今までに肺炎球菌ワクチンを接種したことのある方は対象となりません。
対象者には通知しています。

* 高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌ともに、接種日の時点で60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器、免疫機能に重度の障がい有する方（身体障害者手帳1級程度）は対象です。

参考：全国健康保険協会HP「冬の水分補給」、厚労省HP「高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌」

オーラルフレイルの予防

オーラルフレイルは、「歯や口の衰え」のことで、老化のサインともいわれています。食べられなくなることによって栄養状態の悪化や筋力の低下により、外出が減るなどの結果、介護が必要になることもあります。健康的な毎日を過ごすためにも、オーラルフレイルの症状にできるだけ早くに気づき、予防や改善をすることが大切です。

お口の衰えをチェック

- ☐ むせる、食べこぼす
- ☐ 滑舌が悪い、舌が回らない
- ☐ やわらかい物ばかり食べる
- ☐ 自分の歯が少ない、あごの力が弱い
- ☐ 食欲がない、少ししか食べられない
- ☐ お口の中が乾く

～オーラルフレイルを予防するためのポイント～

- ①よく噛んでから飲み込むこと。目標はひと口30回
- ②歯磨きは基本的に毎食後。特に朝と夜はていねいに
- ③歯や歯ぐきの不具合は放置をしない。早めの歯科受診へ
- ④ゴボウやレンコン、キノコ類など繊維質の多い野菜を食べる
- ⑤食事の時に水分を多量にとらない
- ⑥禁煙する



*チェックの数が多い方は、予防のためのポイントを積極的に実践しましょう。

*オーラルフレイルを予防するには、おしゃべりや意識して口を大きく動かすことも効果的です。また、かかりつけの歯科医院で定期的にお口の中をチェックしてもらうことも必要です。

参考：歯科診療所におけるオーラルフレイル対応マニュアル 日本医師会HP、令和元年度食事摂取基準を活用した高齢者のフレイル予防事業 厚労省HP

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0246-84-5205

インフルエンザの予防接種はお済みですか？

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの症状を区別することは困難であるとされています。

新型コロナウイルス感染症も季節性インフルエンザも、高齢者や慢性疾患患者、小児では特に重症化しやすいとされています。インフルエンザ予防接種は義務ではありませんが、接種希望の方は医療機関や接種方法などを確認のうえ、計画的に接種してください。

「風邪のような症状、発熱、強いだるさ・息苦しさ」等の症状のある方は、かかりつけ医など身近な医療機関へまずは電話で相談を。かかりつけ医がない方やどこに相談したらよいかわからない場合は「(新型コロナウイルス感染症の)受診・相談センター」(福島県内の場合は☎0120-567-747)へ電話相談してください。



【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0246-84-5205

令和3年度 公立双葉准看護学院 学生募集

公立双葉准看護学院では、一般入学試験を実施します。

試験科目が変わり、より挑戦しやすくなりました。一緒に看護のプロを目指しましょう!!

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------|
| ◇ 募集人員：30名 | ◇ 出願期間： |
| ◇ 修業年限：2年(全日制) | 令和3年1月5日(火)～1月26日(火) 必着 |
| ◇ 受験料：1万円 | 午前9時～午後4時30分まで(土・日・祝祭日を除く) |
| ◇ 受験資格：中学校卒業以上の者(令和3年3月卒業見込みを含む・年齢不問) | ◇ 試験日：令和3年2月1日(月) |
| | ◇ 試験科目：筆記試験(国語)、作文、面接 |

【出願・問い合わせ先】 公立双葉准看護学院 ☎975-0036 福島県南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-76
☎0244-32-0990 E-mail: futajyun-kango@aioros.ocn.ne.jp

消防署からのお知らせ

ストーブによる火災に注意！

寒い時期を迎え、暖房器具を使用する機会が増えてきます。建物火災の原因の中でも**ストーブによる火災**が増加する傾向にあります。今一度、正しい使い方を確認し、火災を未然に防ぎましょう！

ストーブ火災を防ぐ6つのポイント

- ① ストーブの周囲は常に整理整頓し燃えるものを近づけない。
- ② 近くでスプレーを使用したり、スプレー缶を放置しない。
- ③ ストーブを洗濯物の乾燥に使用しない。
- ④ 給油時はストーブを消す。
- ⑤ 給油後、タンクの蓋が閉まっていることを確認する。
- ⑥ 就寝時や外出する際は、ストーブを消しコンセントを抜く。



トラッキング現象って知ってますか？

コンセントとプラグの隙間にホコリがたまり、そこに空気中の湿気を吸収することで、漏電し発火する現象のことです。

トラッキング現象を防ぐ3つのポイント

- ① プラグにホコリをためないように定期的に点検・清掃をする。
- ② 使わないコンセントを塞ぎ、ホコリや異物の侵入を防ぐ。
- ③ 変形・変色した古いタップは使用せず取り替える。



2020年度 全国統一防火標語 【その火事を 防ぐあなたに 金メダル】

火事と救急は119番 <消防署連絡先> ・浪江消防署 ☎0240-34-4111
・富岡消防署 ☎0240-22-2119

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇中間貯蔵工事情報センターについて

- 中間貯蔵施設の様子をバスでご覧いただく見学会を月1回実施しています。
12月は、25日（金）を予定しています。見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター（☎0240-25-8377）までお願いします。

◇輸送について

- 双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。
・2020年度は、717,419m³搬入しています。（2015年からの累計は2,639,062m³）※11月11日現在
➤ 12月27日（日）～1月5日（火）は輸送を休止いたします。

◇保管場及び陳場下交差点の放射線監視

- 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
- 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎024-563-1293



厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

【求職者向け】就職相談

あなたのサポーターがここにいる！就職活動についての悩みや不安を相談してみませんか？

- 日 程… 12月24日(木) 13:00～15:00 おひとり20分程度
- 会 場… 浪江町役場 3階 301会議室(双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2)
- 定 員… 先着5名(要予約、先着順：お電話によるお申し込みも可)
- 締 切… 12月23日(水)



【求職者向け】企業見学 in 南相馬

◎今注目のロボット産業に触れる！

最先端技術で未来の農業に種をまく(株)紅梅夢ファームとAI介護ロボットで人に寄り添う技術を開拓する富士コンピュータ(株)AI技術研究所、これら2社を見学する就職活動のためのイベント！詳しくはホームページをご覧ください。

- 日 程… 12月18日(金) 13:00～16:00
- 会 場… 福島ロボットテストフィールド(南相馬市原町区)
- 定 員… 20名程度(要予約：FAXでのお申し込みも可)
- 締 切… 12月10日(木)



共通事項 ※新型コロナウイルス感染予防対策を講じ開催いたします。※ホームページからお申し込み下さい。

【問い合わせ先】 ホームページ [働きたいネット](#) で検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口(福島市中町4番20号 みんゆうビル202号)

☎024-524-2121 FAX 024-524-2125



人のうごき10月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏 名	生年月日	保護者	行政区
岩川 莉と	9月11日	安奈	長塚一
高野 楓	9月29日	有崇・友美	羽 鳥
松本 蒼生	9月29日	剛幸・由貴	長塚二
藤田 柚月	10月 5日	修平・奈々	長塚二

お悔み申し上げます

氏 名	年 齢	死亡日	行政区
穂積 繁子	88	9月28日	寺 松
菊地ヤス子	90	9月30日	山 田
高崎美津男	66	10月 5日	羽 鳥
志賀マス子	89	10月14日	長塚二
木藤 智恵	99	10月19日	下 条
竹内ヨシエ	81	10月23日	新 山
羽山クニ子	73	10月25日	細 谷

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎0246-84-5202



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

【文芸】		川柳・原発は 汚染水 今日の紙面も
短歌・連山を ねずみを連れて	俳句・刈田跡 白鷺集い	古里の 流れ星 空に向いてる
今泉 禮子(長塚二)	落穂食む	振り向けば 登った坂の

双葉町民の避難状況 (令和2年10月31日現在)

- ・福島県内に避難されている方 4,025人
- ・福島県外に避難されている方 2,788人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第92号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課

☎ 0246-84-5202



つしま ひろみち
津島 博道 さん

(三字)



●避難先●
宮城県仙台市

一家で双葉町へ

生まれて間もなく喘息を発症し、3歳頃までは喘息の発作が治まらず、度々、入院治療を受けることもありました。そのため、普通なら軽い風邪のような症状で済むようなことでも、十分注意が必要で、主治医からは、喘息の発作が起きた場合に備え、家庭でも使用可能な吸入器の使用を勧められたほでした。

私の両親は共働きで教員をしていました。私の喘息による入院や通院、看病等のため、急に仕事を休むことが難しいということもあり、私が4歳の時にいわき市から母方の祖父母が住む双葉町に一家で移り住みました。

故郷がくれた宝物

双葉町での生活を始めてから、成長につれて体調が良くなりました。指導者をしていた祖父のサポートもあって、卓球に打ち込み、中学生の時には東北大会に進むことができたなど、思春期を迎えた頃には、おおむね健康な身体となりました。それは故郷から頂いた貴重な「宝物」と思っています。

「故郷との別れ」と「希望との出会い」

高校卒業と震災が重なり、大学進学後、故郷への帰省すらできず、気持ちが沈むような時もありました。

一方、大学では化学を専攻し、卒業後は大学院の修士課程に進む中、かつて、喘息を患ったこともあってか、「特定の病気（症

状）には、生体内で特定の生体分子が関係していること」いわゆる生化学に関心を持ちました。特に、動物実験を通して、明確にその現象を確認できたときには、より探求したいという「希望」と出会えました。

病気の解明と向き合う

現在、東北大学大学院医学系研究科博士後期課程に在籍し、また、助手として勤務しながら、「過敏性腸症候群における脳腸相関メカニズム」について研究しています。この病気は、ストレスにより発症・増悪し、日本人の有病率はおよそ10%といわれています。しかし、その治療法は、未だ、十分に確立されていません。

今年度、課程修了にあたり、先日、博士号取得に向け論文を提出しましたが、それは、ゴールでなく、あくまで研究のひと区切りに過ぎません。

ハードルを一つ越えられた

幼い頃、病気がちだったせいもあり、人前に立つことが得意ではありませんでした。しかし、双葉中学校で受け入れていただいた教育実習で生徒に分かりやすい授業をすることや、大学院で研究発表会の実行委員長を務めるうちに、そうした「不得意」をある程度克服できたことに気付かされました。

研究者としてまだ駆け出しですが、自らの活動を通して、故郷復興のお役に立つことができたいと思っています。

今月のベストスマイル



双葉町表彰式の表彰状を筆耕した渡部翠峰（正義）さんと、奥様の三重子さん（長塚一）の笑顔です。

編集後記

今月の表紙は、11月8日に行われた「秋の双葉を歩こう」での一面です。参加者の皆さんが駅西側地区の自然風景の中を歩きながら町での思い出や、現在の生活のこと、これからの駅西側地区に期待することなどを話しながら歩いているとあつという間に1万5000歩ほど歩いていました。案内役の設計事業者の方の「今日は駅西側地区を皆さんに案内しますが、皆さんに教えてもらうことの方が多いと思います」という言葉どおり、「前田川には天然の鮎がいたんだよ」「車が多い通りを避けて遊歩道を歩いて学校に通っていました」など、たくさんさんの思い出話を教えていただきました。

前日には、双葉町産業交流センター等の合同開所式が行われました。式典には多くの方が招待され、開所を祝っていただきました。両日とも秋晴れで少し汗ばむくらいの陽気でしたが、中野地区や駅西側地区には強い風が吹き、季節が変わりつつあることを感じました。

今年も残すところあと1カ月となりました。感染症の流行など、体調を崩しやすい時期ですので、新しい生活様式を実践しながら、多忙な時期の体調管理にはご注意ください。



連絡先

- **いわき事務所**
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp
- **郡山支所**
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp
- **埼玉支所**
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp
- **コミュニティセンター連絡所（午前9時～午後4時）**
〒979-1471
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西39-22
☎ 0240-23-0051
FAX 0240-23-0052
- **南相馬連絡所（午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分）**
〒975-0039
福島県南相馬市原町区青葉町2-62-2
☎ 0244-32-1275
FAX 0244-32-1277
（浪江町役場南相馬出張所内2階）
- **つくば連絡所（月・火・水 午前9時～午後5時）**
〒305-0044
茨城県つくば市並木3丁目1 551棟
☎/FAX 029-854-7511

- **双葉町公式ホームページ**
<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>
- **双葉町公式YouTubeチャンネル**
<https://www.youtube.com/user/futabakoho>

- **双葉町復興ポータルサイト**
<https://www.futaba-fukkou.jp/>
- **双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」**
<https://futabanowa.wordpress.com/>

